



▶ G4-EC7, SO1

特集01 Building Better Communities^{*1}

フィリピンの明日をともにつくる。

7,107もの島からなるフィリピン共和国。中でも観光産業で栄えるセブ島の、フィリピン第二の都市であるセブ市近郊で、タイハイヨウセメントフィリピンズ(TCPI)は操業しています。

フィリピンは太平洋上の台風の通り道に位置するため、台風被害やエルニーニョ現象による干ばつ等、特に地球温暖化による異常気象の影響にさらされています。フィリピン政府は2010年に「災害リスク軽減・管理法」を制定し、「レジリエントなまちづくり」^{*2}に取り組んでいます。防災のためのインフラ強化や経済成長によるセメント需要は高まっており、2015年

の需要量(2,430万トン)は2010年の1.5倍を超えました。今後、さらなる需要が見込まれています。

伸び続ける需要に応えるため、2015年に新クリンカ粉碎ミルを増設し、セメント生産能力は従来の約1.7倍(年間240万トン)に、さらに工場専用の港も拡張し、輸送船の入港を5隻から10隻にするなど、設備増強を図っています。また「2016年工場管理目標」の基本方針の一つに「教育研修の拡大」を設定し、操業の基盤となる人材育成に注力しています。



新設された粉碎ミル

01: フィリピン人に人気のバスケットボール。写真はTCPIのセメント寄付により修繕したバスケットボールコート **02:** 現地で雇用された女性従業員が多く働き、活気溢れるセブオフィス **03:** 発展が著しいセブ市街とは対照的に豊かな自然と美しい海が残るセブ島 **04:** 山岳地域のバラングイ^{*3}から見たTCPIの工場と鉱山 **05:** TCPIがセメントを供給し、敷設された山岳地域の道路 **06:** 現地法人であるSolid Earth Development Corporation(SEDC)が管理する鉱山。珊瑚起源の石灰石で柔らかく純度が高い。石灰岩以外の雑岩がほとんどなく、ほぼすべてをセメント原料として使用可能 **07:** セブ市につながる工場前の幹線道路。交通量が多く、セブ市周辺の発展の著しさが伺える。TCPIはセメント供給によってインフラ構築を支援 **08:** 工場全体のオペレーション管理を行う中央監視室 **09:** TCPIが支援した井戸で水を汲む少女

^{*1} タイハイヨウセメントフィリピンズの経営理念 ^{*2} 大規模災害等が起きてても社会システム機能を速やかに回復させるため、防災・減災対策を進めること

^{*3} バラングイ: 村、地区を表す最小の地方自治単位



高校・大学時代に奨学金支援を受けていたルーチェルさん(写真中央)とご両親。8人兄弟の長女として生まれ、現在は会計士として働いています。成績優秀者のみが受けることのできる奨学金制度は奨学生たちに誇りと夢を与えます。2005年に制度を設けて以来、のべ152名(中・高校生131名、大学生21名)を支援してきました。2016年現在、13のバラングイの計62名を支援しています。



事業活動を支える人材の力を伸ばす

正確で効率的なオペレーションを維持してこそ、高品質の製品の安定的な生産が成り立ちます。若い世代への知識・技術の承継を目標に掲げ、2016年1月にトレーニングセンターを開設しました。担当業務だけでなく工場全般のオペレーションを横断的に理解し、周囲の従業員を先導して現場を統括できる技術者の育成を目指しています。現在は座学をメインに業務を行いつつ製造部スタッフおよび機械・電気系従業員が各々のカリキュラムに沿った教育を受けており、定年後に再雇用した現地のベテラン技術者が講師として活躍しています。さらに部門ごとに通常業務内での技術指導を盛り込んだ目標を設定し、OJTによる人材教育についても強化しています。



トレーニングセンターでの受講風景。100名以上の従業員が専門分野について学ぶ。

不衛生状態によって起きる感染症の終息・予防のため、TCPIの産業医が中心となり各バラングイを巡回して対処法のレクチャーと石鹸配布を実施しています。さらに小学校への手洗い場寄付、公共の場への井戸や給水システムの設置によって、水へのアクセスを可能にし、衛生状態の改善に努めています。経過は各バラングイのヘルスワーカーがモニタリングし、産業医に報告する仕組みです。地域行政とも連携し、複数の支援活動を効果的に組み合わせ、地域の課題解決に取り組んでいます。

工場のあるサウスポプラシオン地区のバラングイ議長と評議員の皆様。定期的な話し合いにより地域のニーズを汲み取り、SDMPプログラムの支援内容を決定。



の一環として、工場周辺地区の中・高校生、大学生を対象に、それぞれの学校を卒業するまで継続的に奨学金を授与しています。奨学生を対象にしたリーダーシッププログラム等の開催により、住む地域の違う奨学生同士のつながりも生まれています。フィリピンの将来を担う世代にも無限の可能性を信じて成長してもらいたいと、我が子を見守るように様々な面から支援しています。また、学校や医療センターの建設や設備補修、道路の舗装等、地域インフラの向上のためにセメントの寄付を続けていることも、セメント会社ならではの取り組みです。

地域の未来を支える次世代を支援する

TCPIは、利益の一部を地域支援に拠出するSDMP(地域開発プログラム)を運用しています。そ

TCPIは事業を通じて、セメントの供給によるインフラ構築と、SDMPによる地域参画という2つの側面の社会的機能を担い、これからもよりよい社会づくりを目指します。

VOICE 「人を育てる」ことを通じて、地域とともに成長を目指します。

セメント事業は地域密着型の産業です。同じ場所で長いスパンで操業するには、操業地域から認められ、必要とされる企業であることが重要であり、「フィリピンとともに生きていく」というマインドで積極的に地域参画に取り組んでいます。高品質のセメントの生産は、高度な技術力を持つ人材を確保・育成してこそ維持できます。現地人材は重要な戦力です。いわば「ものづくりは人づくり」なのです。同様に、フィリピンの未来をつくるのも人の力だと思います。自社、そして操業地域の「人を育てる」ことを通じて、広くフィリピンの明日に貢献し、地域とともに成長していくことを目指します。

タイハイヨウセメントフィリピンズ 社長 浅見 賢志

